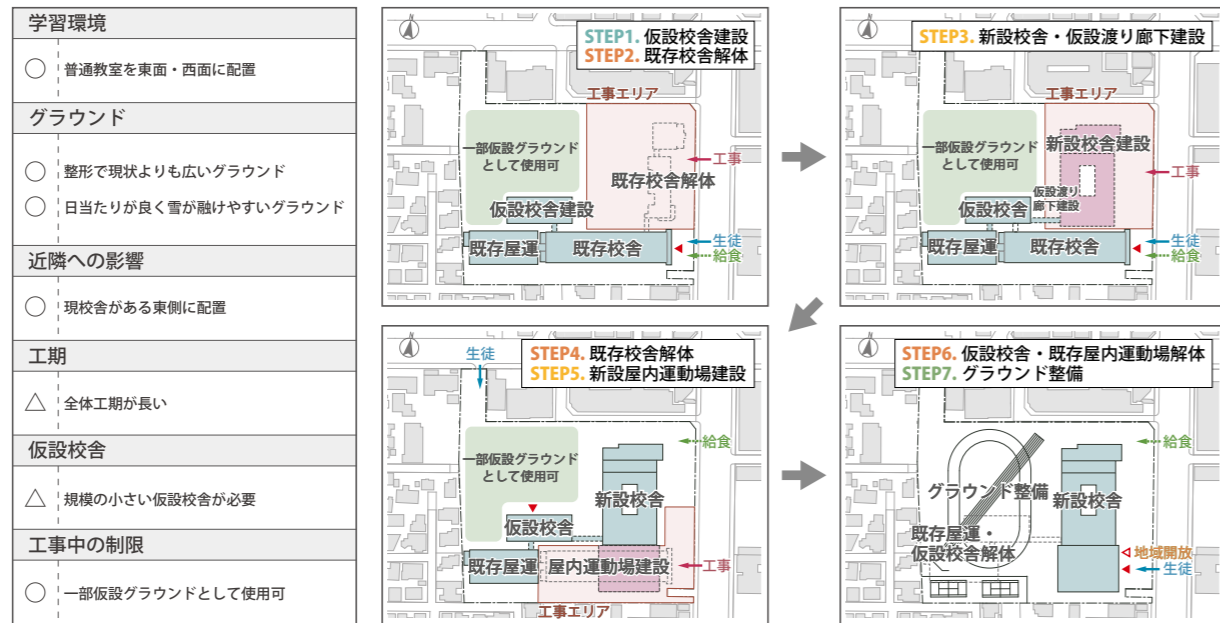
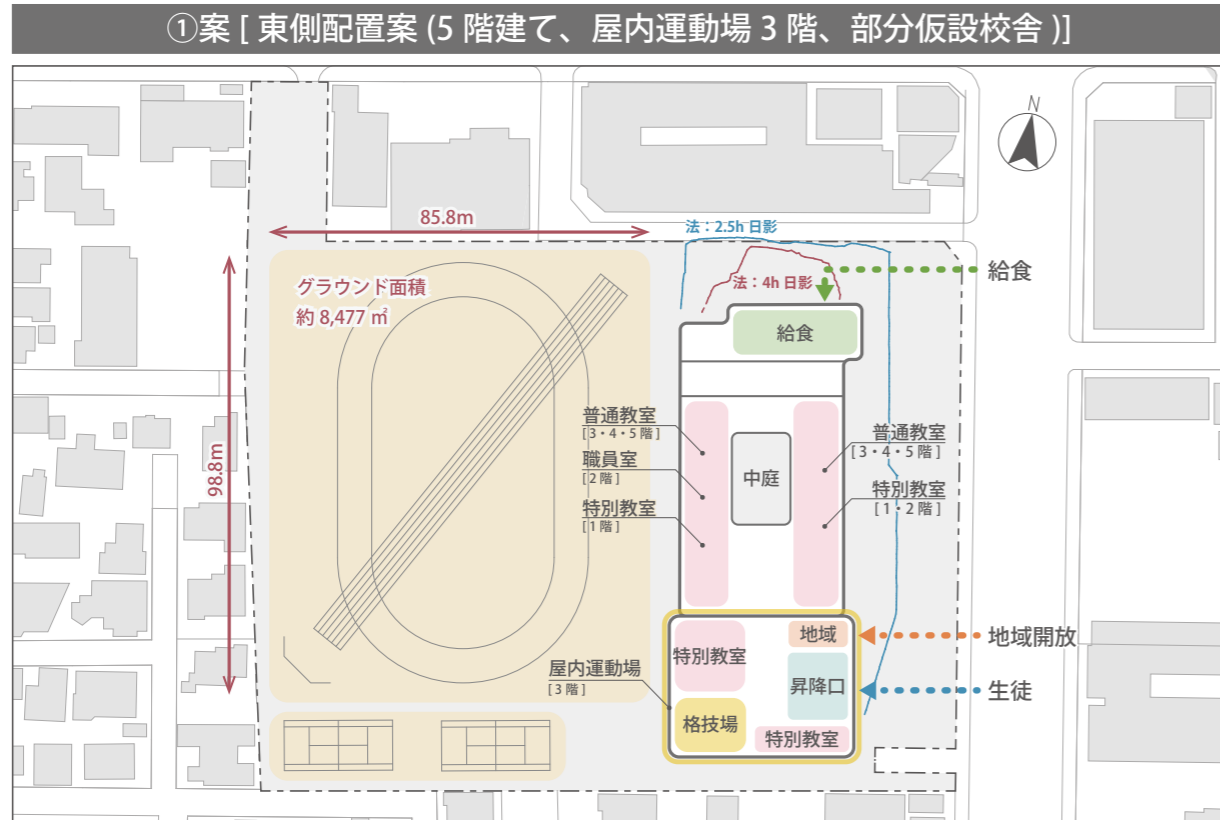


■第1回改築検討協議会の振り返り（配置計画の検討）

- ・ 前回の協議会では、現校舎に近い配置である①案 [ 東側配置案 ( 5階建て、屋内運動場3階、部分仮設校舎 ) ] と、敷地の北側に校舎を配置した②案 [ 北側配置案 ( 5階建て、屋内運動場3階、仮設校舎なし ) ] を検討しました。
- ・ 昇降口の位置やグラウンドの広さなど、学習環境を考慮した結果、①案を基本として計画を進めていくことを承認いただきました。



| 2023                                       | 2024                   | 2025            | 2026            | 2027               | 2028                    |
|--|------------------------|-----------------|-----------------|--------------------|-------------------------|
| 仮設校舎建設<br>STEP1                            | 新設校舎・仮設渡り廊下建設<br>STEP2 | 既存校舎解体<br>STEP3 | 既存校舎解体<br>STEP4 | 新設屋内運動場棟設<br>STEP5 | 仮設校舎・既存屋内運動場解体<br>STEP6 |
| STEP7: グラウンド整備                             |                        |                 |                 |                    |                         |
| 全体工程・グラウンド使用制限：5年4カ月（工事期間中一部仮設グラウンドとして使用可） |                        |                 |                 |                    |                         |
| 仮設校舎期間：4年                                  |                        |                 |                 |                    |                         |
| 新校舎完成：2年4カ月                                |                        |                 |                 |                    |                         |
| 新屋内運動場完成：3年7カ月                             |                        |                 |                 |                    |                         |

① 多様で柔軟な学習空間

- 1) 多様な学習活動を展開できる空間
  - ・ 教室と一体的に利用可能なワークスペースを計画し、多様な学習形式に対応します。
  - ・ 学習や簡易的な集会等に使用できる空間を計画し、学校全体を学びの場とします。
- 2) 生徒増加に対応できる可変性のある空間構成
  - ・ 将来普通教室に転用可能な教室を各フロアに2室ずつ整備し、生徒数の増加に対応可能な学校とします。
- 3) アクティブラーニングスペースの整備
  - ・ デジタル学習に対応した多目的室や、学習スペースを備えた図書室を整備することで、生徒の自主的な学習を支える環境とします。
- 4) インクルーシブ教育を目指した学校施設
  - ・ すべての人にとって利用しやすいユニバーサルデザインに配慮した学校とします。
  - ・ 普通教室とのつながりを意識した特別支援学習室を新たに整備します。

② 健やかな学習、生活環境

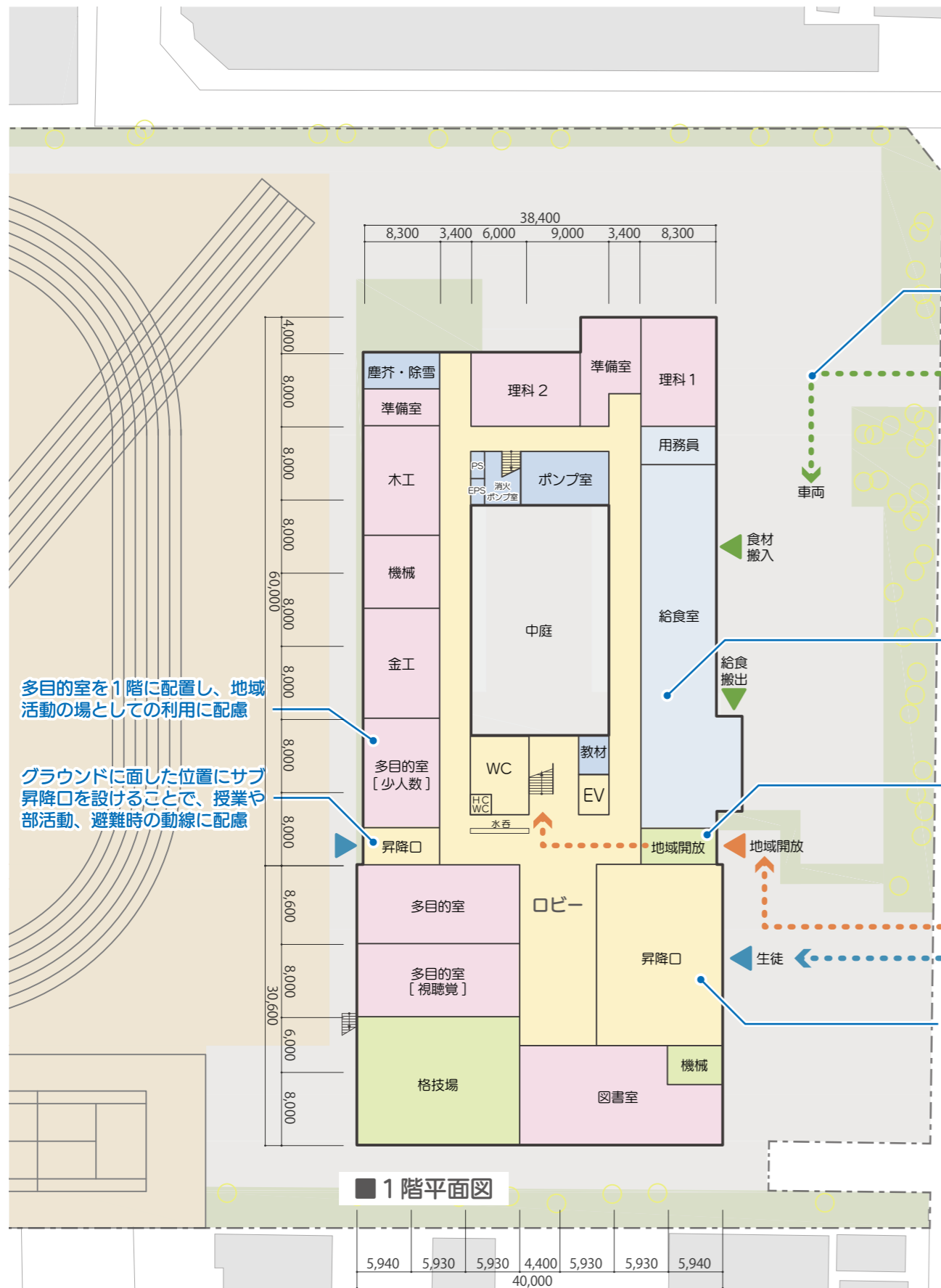
- 1) 快適で温かみのある空間
  - ・ 自然採光や自然換気に配慮した計画とし、快適な学習環境を整えます。
  - ・ 内装に木を使用することで温かみのある親しみやすい校舎とします。
- 2) 感染症対策に配慮した計画
  - ・ ワークスペースに面した中庭を設け換気に配慮します。
  - ・ トイレの洋式化や手洗い設備の自動水栓化など、設備計画における感染症対策を強化します。

③ 地域と連携した学校施設

- 1) 地域コミュニティとして利用しやすい校舎
  - ・ 多目的室を1階とすることで、授業だけではなく地域利用を考慮した配置とします
- 2) 避難所としての整備
  - ・ 札幌市ハザードマップでの浸水想定 [ 浸水深：3.0～5.0m ] 地区となりますが、屋内運動場を3階に計画することで、浸水時にも避難可能となります。
  - ・ 備蓄庫を校舎内に整備し、避難所運営が円滑に行える学校とします。

④ 環境に配慮した学校施設

- 1) 自然エネルギーの活用
  - ・ 自然採光、自然換気を考慮した建物計画とし、自然エネルギーの活用を行います。
- 2) 省エネルギーに配慮した計画
  - ・ 断熱性能やエネルギー効率を考慮した計画とすることで、省エネルギーに配慮した計画とします。
  - ・ ZEB化の検討を行い、運営や解体を含めた省エネルギーの計画を行います。



生徒動線と車両動線を明確に分けることで歩車分離に配慮

給食室は東側に配置し、住宅地への二オイの影響を軽減

上階への動線にアクセスしやすい位置に地域開放玄関を計画

メイン道路からわかりやすい位置に昇降口を設け、利便性に配慮

多目的室を1階に配置し、地域活動の場としての利用に配慮  
グラウンドに面した位置にサブ昇降口を設けることで、授業や部活動、避難時の動線に配慮



心の教室は相談しやすい落ち着いた環境に計画

音楽室は住宅地から離れた配置とすることで騒音に配慮

メイン階段やグラウンド全体を見渡せる位置に職員室を配置

ロビー上部に吹き抜けを設けることで開放的な空間とする



- 学校出入口
- 地域開放出入口
- 搬出入口
- 普通教室・特別支援教室・転用教室
- 管理諸室
- 屋内運動場・格技場・地域開放
- 生徒動線
- 地域開放動線
- 車両動線
- 特別教室・多目的室・図書室
- 給食諸室
- 共用スペース

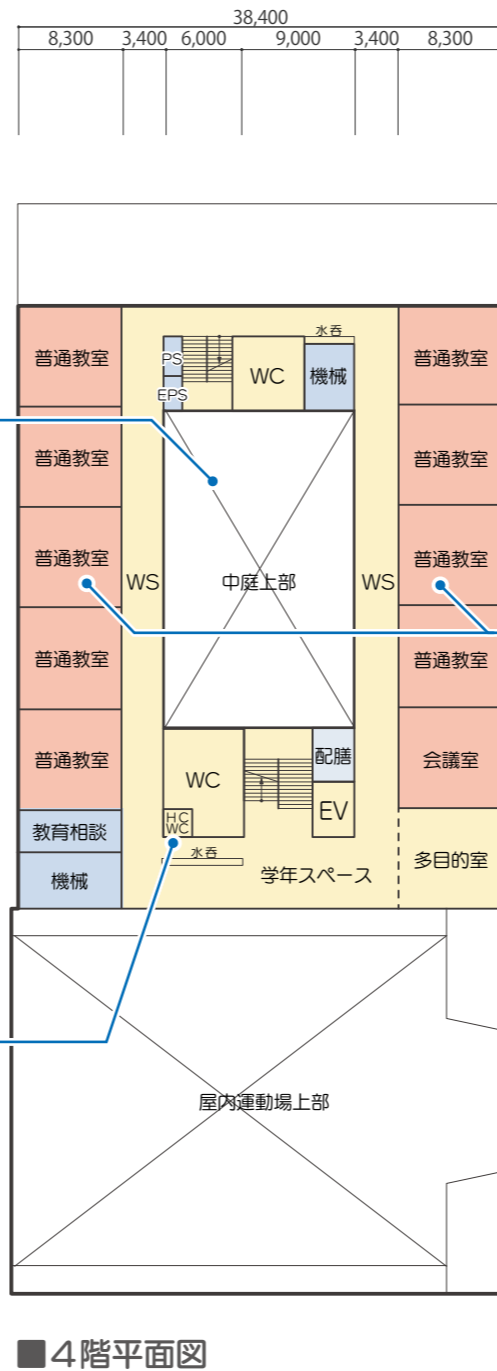


教室と一体的に利用可能なWSを設け、多様な学習形態に対応

校舎中央に中庭を計画し、採光や通風に配慮

3~5階の各フロアに将来教室に転用可能なスペースを2室分確保

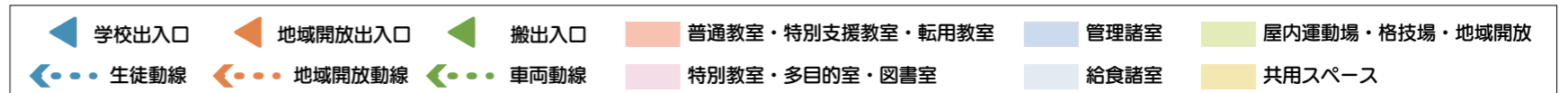
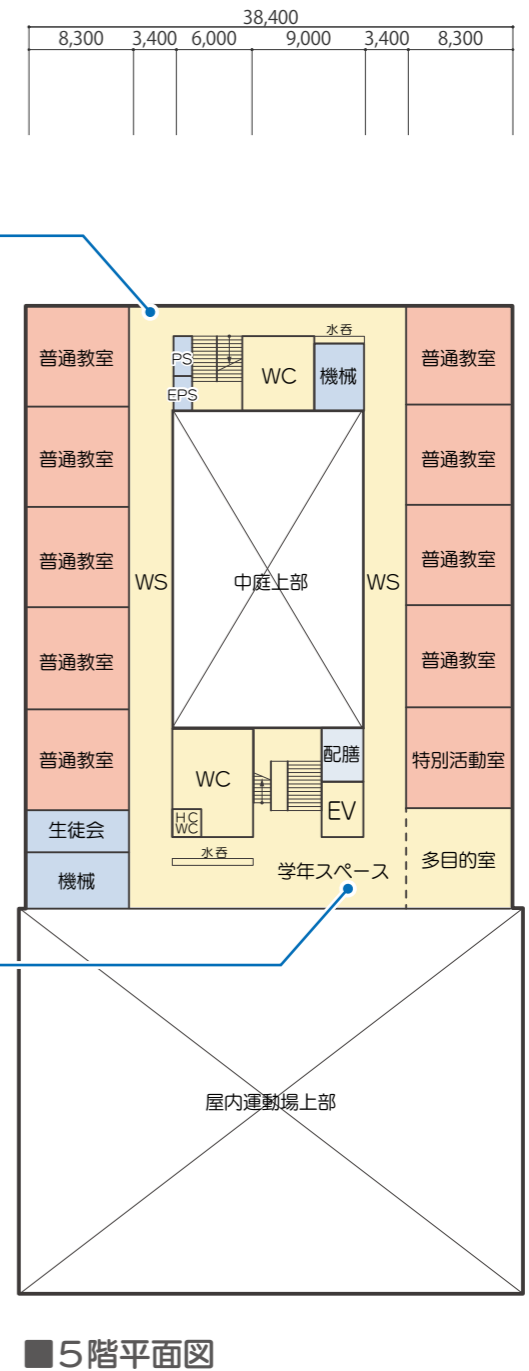
各階に多目的トイレを配置し、ユニバーサルデザインに配慮

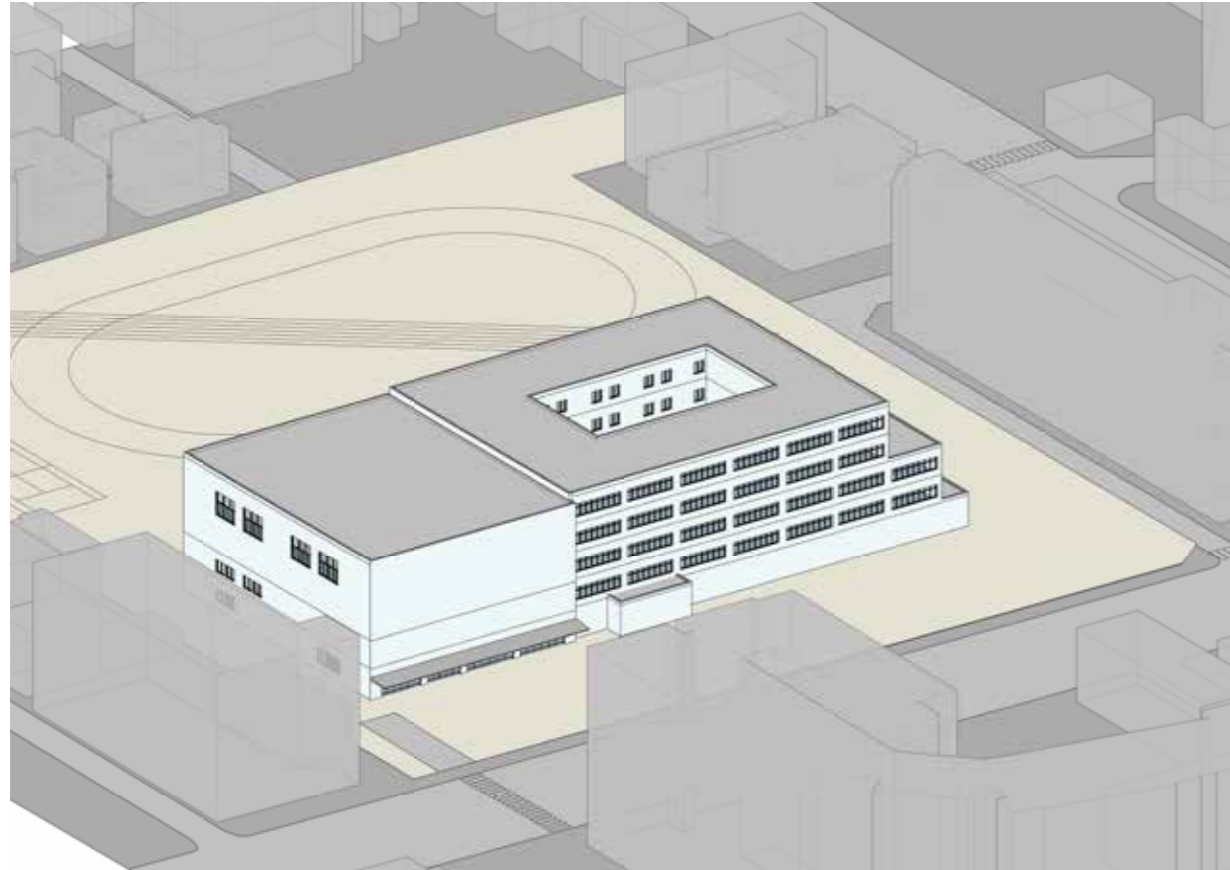


廊下の突き当りに窓を設け、明るく風通しの良い学習環境に配慮

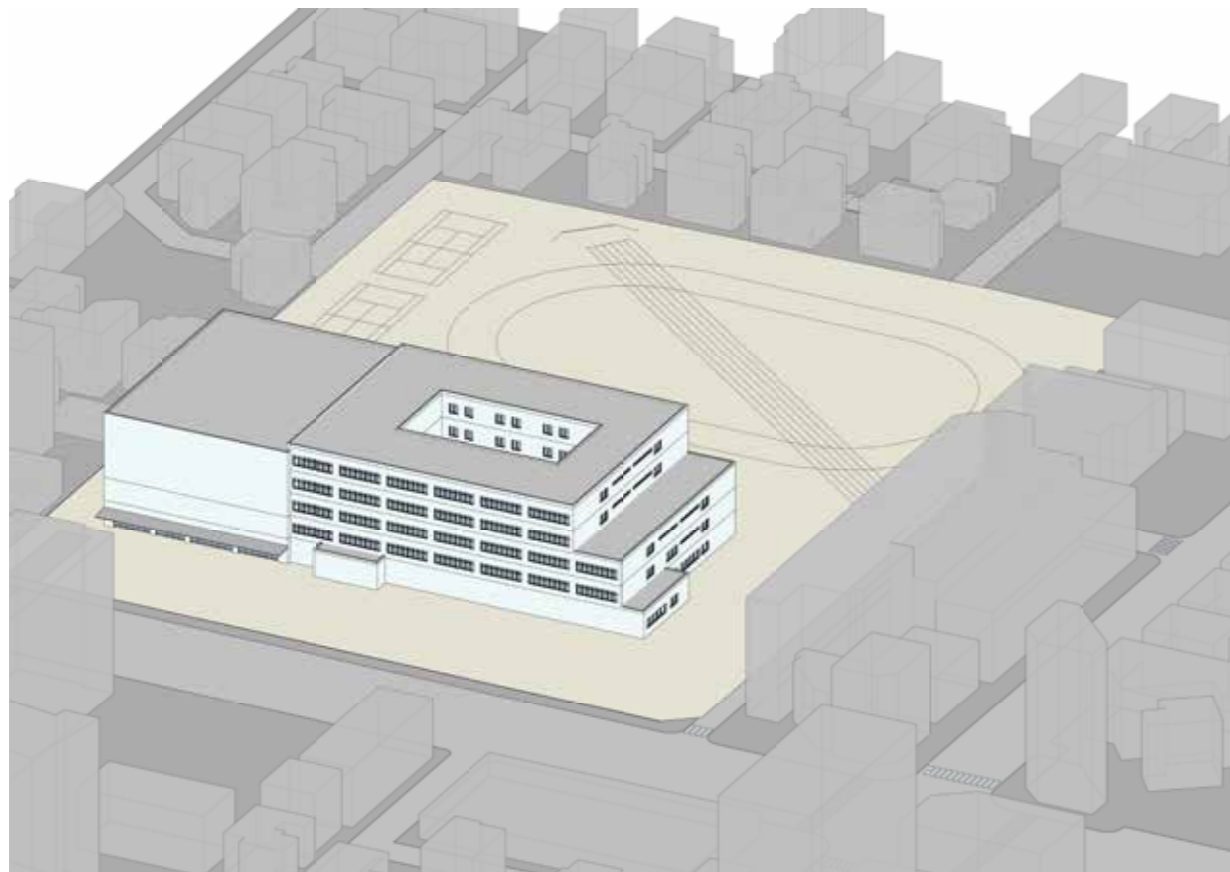
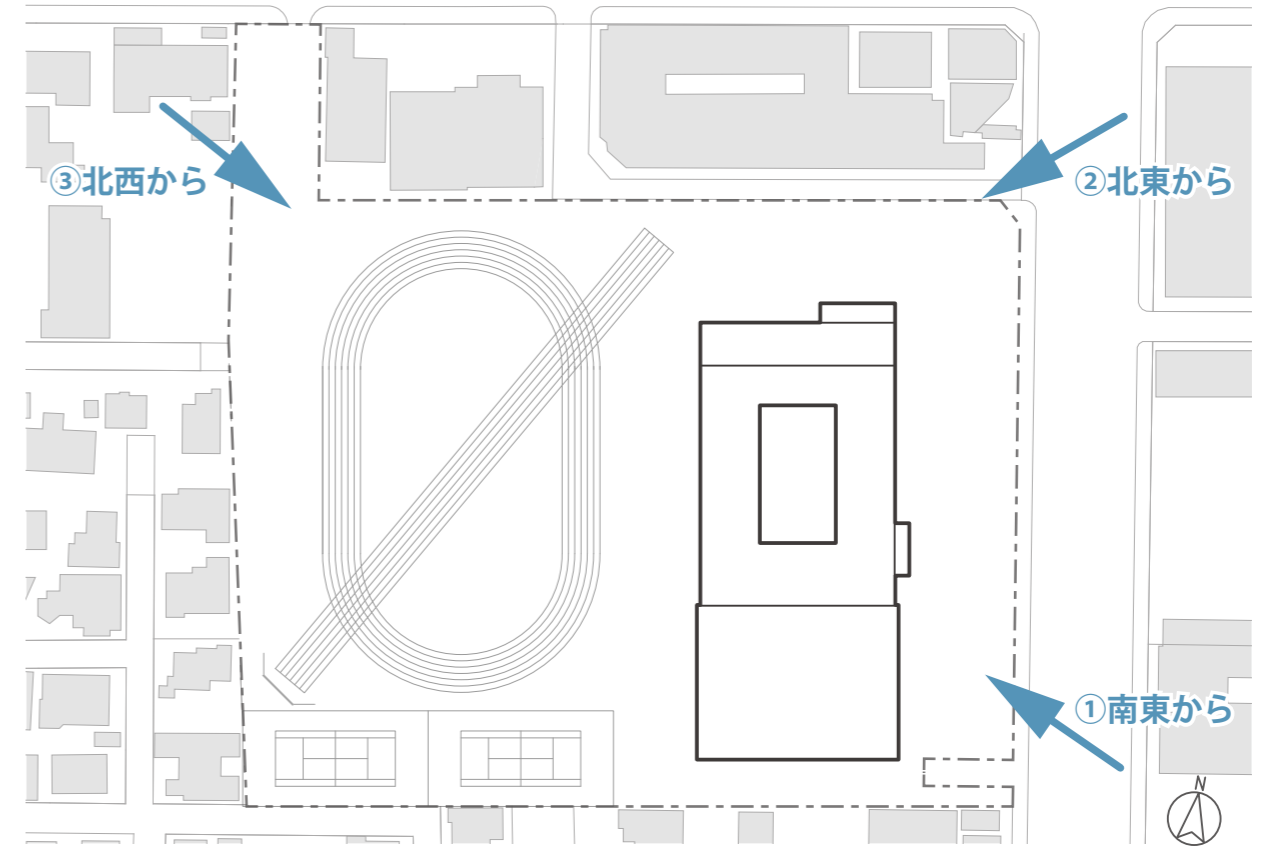
教室は採光やプライバシーを配慮し、東西側へ向けて計画

メイン階段まわりに学年スペースを計画し、生徒が集まりやすい活動の場とする

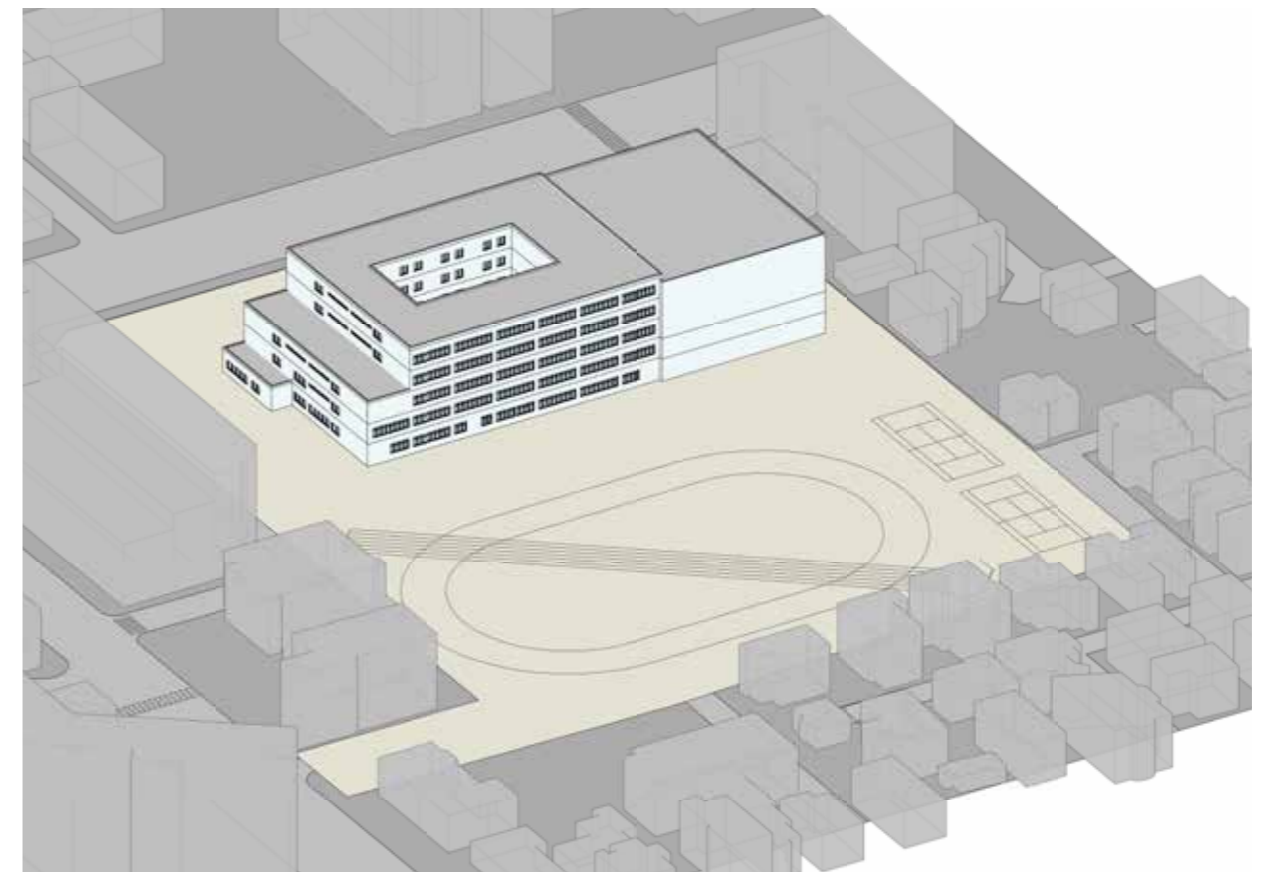




①南東からのイメージ



②北東からのイメージ



③北西からのイメージ